

あま〜いブルーベリー

「観光農園」で収穫期

上吉沢の障害者就労施設しんわルネッサンス(今井康巨所長)が管理する観光農園で、ブルー

ベリーが収穫を迎えた。ブルーベリーの栽培は障害者の工賃向上を目指して2012年にスタート



夢中で実を摘み取る子どもたち

ト。当初は苗木100本で始まったが、今では216本まで増え、農園の面積も倍の3千m²まで拡大。収穫は9月まで続き、800kgを見込む。

重量あたりの単価が高く、知的障害のある人でも梱包作業などがしやすいことから、同施設ではブルーベリーを事業に組み入れた。21日にはハレノヒ保育園(秦野市)の園児らが農園を訪れ、摘



加工品も販売

み取りを体験。たわわな実をほお張り「とっても甘いよ」とあちこちで笑顔が見られた。同施設では加工品の販売や摘み取りも受け付けている。

問同施設 ☎0463・58・5414へ。